

進化するSD-OCT ~ 高速・高画質・高侵達・Angio ~

日時：2015年 **10月24日(土)** **12:40 ~ 13:40**

会場：第5会場(名古屋国際会議場 4号館 3F 会議室 431+432)



座長： **吉村 長久** 先生(京都大)



寺崎 浩子 先生(名古屋大)

演者： **大音 壮太郎** 先生(京都大) **伊藤 逸毅** 先生(名古屋大)

※本セミナーは整理券制(自動発券機対応)となります。

進化論①

「次世代OCT: Spectralis OCT2の画像を読む」



大音 壮太郎 先生



進化論②

「Cirrus HD-OCT plus(5000)を使用したOCTAとその他の新機能紹介」



伊藤 逸毅 先生



OCTによる臨床応用は、2006年に登場したスペクトラルドメインOCT(SD-OCT)により急速に発展し、10年前には想像も出来なかったことですが、今では眼科診療になくてはならない機器となりました。

さてOCTの技術革新はどこまで続くのでしょうか?

最近では新しい光源を採用したSS-OCTが話題に上がっていますが、SD-OCT数機種も今まさに新たな世代に生まれ変わろうとしています。スピードや画質面で格段と性能を上げ、En Face ImageやOCT Angiography(OCTA)が可能となり、臨床応用の期待が急速に高まっております。

そこで本セミナーでは、欧州メーカーのOCT 2機種、Heidelberg Engineering社のOCT(ハイデルベルグスペクトラリス、認証番号: 220AIBZX00005000)とCarl Zeiss Meditec社のCirrus HD-OCT plus(5000)(認証番号: 224AHBZX00038000)を使用して、進化したSD-OCTで可能となった新しい臨床応用の可能性について京都大学と名古屋大学より臨床経験を講演頂きます。ドイツメーカー2社がコラボした本セミナーにどうぞご期待ください。

※本セミナーは未承認の内容を含みます